

かごしま 市議会だより

2006 No.295

平成18年10月25日
編集・発行／鹿児島市議会
☎099-224-1111代表
ホームページアドレス <http://www.city.kagoshima.lg.jp/>

第3回定例会

平成十八年度鹿児島市一般会計補正予算を可決 —環境未来館(仮称)の建設費を計上—



鹿児島中龍玉・高等学校合同体育祭

さわやかな風 駆け抜ける

決算特別委員会 設置

平成17年度一般・特別会計(企業特別会計を除く)の決算議案を審査するため、9月20日に決算特別委員会を設置し、委員の選任を行いました。

なお審査は11月6日から行う予定です。

▼委員は次のとおりです。

- ◎委員長
- 副委員長
- ◎ 川野 幹 男
- 古江 尚 子
- 和田 幸一
- 奥山よしろう
- 大森 忍
- うえがき 勉
- 川越 桂路
- 井上 剛
- 山下ひとみ
- 飯屋 秀一
- 三反園 輝男
- 幾村 清 徳

〔第三回定例会〕
平成十八年第三回定例会は、九月五日から二十九日までの二十五日間にわたって開かれました。

この定例会では、環境未来館(仮称)の建設費や平成十九年度から軽自動車税をコンビニエンスストアにおいて納付できるようにするための準備経費を含む「平成十八年度鹿児島市一般会計補正予算(第二号)」や「鹿児島市国民健康保険条例一部改正の件」など議案十六件をいずれも原案どおり可決および同意しました。

また「『出資の受入れ、預り金及び金利等の取扱いに関する法律』及び『貸金業の規制等に関する法律』の改正を求める意見書」を可決しました。

なお平成十七年度の決算関係議案十六件は、閉会中に決算特別委員会および経済企業委員会において審査します。

可決・同意された主な議案の要旨

- ▼工事請負契約締結の件
 - ・横井埋立処分場(二工区二期)整備工事
- ▼自動車購入の件
 - ・ごみ収集車九台を購入するもの
- ▼鹿児島市国民健康保険条例一部改正の件
 - ・出産育児一時金の額を引き上げるもの(三十万円→三十五万円)
- ▼新たに生じた土地を確認する件
 - ・赤水漁港内公有水面埋立工事のしゅん功認可があったので、これを新たに生じた土地として確認するについて、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めるもの
- ▼町の区域の変更に係る件
 - ・新たに生じた公有水面埋立地を桜島赤水町に編入するに当たり、桜島赤水町の町の区域を変更するについて、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めるもの
- ▼鹿児島市自転車等の駐車対策に関する条例一部改正の件
 - ・無料市営自転車等駐車場として新たに市営宇宿駅自転車等駐車場を設置するもの
- ▼鹿児島市税条例一部改正の件
 - ・地方税法等の一部改正に伴い、個人の市民税の所得割の税率の見直し、地震保険料控除の創設、定率減税の廃止等を行い、あわせて条文の整理をするもの
- ▼平成十八年度鹿児島市一般会計補正予算(第二号)
 - ◎主な内容
 - ・廃止バス路線対策事業
 - ・コンビニエンスストア導入事業
 - ・地域生活支援事業(障害者自立支援法に基づくもの)
 - ・環境未来館(仮称)整備事業
 - ・ファンタスティックイルミネーション推進事業
 - ・市電軌道敷緑化整備事業
 - ・文化財保護管理事業(喜入のリユウキウウガイ産地)
 - ▼平成十八年度鹿児島市介護保険特別会計補正予算(第一号)
 - ・地域包括支援センター開設準備の経費等を計上するもの
 - ▼人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件
 - ・赤星貴子氏
 - ・原口 照氏
 - ・田中佐和子氏
 - ・袖山和子氏
 - ・地頭方 匡氏
 - ・鬼丸憲夫氏
 - ・吉原政子氏

代表 質疑 から

定例会では5つの会派による代表質疑が行われました。その中から一部を紹介します。

市政クラブ

片平孝市議員

市長の政治姿勢 （若い薩摩人への思い）

問 甲子園初出場で活躍した鹿児島工業高校に対する思いは。

答 準決勝の早稲田実業戦では私もアルプススタンドから声援を送ったところであるが、そのはつらつとしたプレイに高校生スポーツの持つ良さを改めて認識させられ、薩摩っ子の心意気を全国に示してくれたものと大変うれしく思っている。

問 若い薩摩人としての人材育成の考え方と期待は。

答 若者の育成には大人が毎日真剣にひたむきに生きることが通じて、若者の手本になることが肝要であると思っている。

次代を担う若者には常に周りの方々への感謝の気持ちを持ちながら、共に支え合い信頼できる地域社会を築くために本市のまちづくりに参加するとともに、新しい鹿児島をつくっていく気概を持ってくれることを期待している。

協働と地域内分権

問 市民との協働と地域内分権

権の考え方と推進の方策は。

答 「自分たちの地域は自分たちでつくる」という認識のもとで、地域が抱える課題を市と協働により解決するとともに、地域でできることは地域に任せるという取り組みであると考えている。

複雑・多様化する市民要望に対し、行政だけでは対応していくことは難しくなってきた。今後どのような分野で市民と協働して事業を進めていくのかについて、各部署とも連携を図りながら検討している。

がん撲滅対策

問 がん撲滅対策として、疾病の多い検査はどのように実効ある対策が行われているのか。

答 本市のがん検診は職場等で受診機会のない四十歳以上を対象に胃がん・肺がん・大腸がん検診、三十歳以上の女性に乳がん検診、二十歳以上の女性に子宮がん検診、五十歳以上の五歳刻みの男性に前立腺がん検診を集団検診または個別検診として行っている。

精密検査が必要な方には医療機関での検査を奨励し、早期発見、早期治療に努めている。

鶴丸城の城門復元と「篤姫」

問 鶴丸城の城門の復元と周辺景観の整備は。

答 鶴丸城跡地周辺は本市を代表する歴史・文化ゾーンであり、観光未来戦略において探勝園周辺の整備を行うことにしている。鶴丸城の城門を復元する検討委員会を設置については同跡地を県が管理しており、県にその旨を伝えている。

周辺景観整備として西郷銅像前の歩道橋の撤去は代替施設の問題があること、費用を要することなど難しい課題があるため、今後関係機関や地元の方々と協議する場を設けていきたい。

問 城門の復元を行い、大河ドラマ「篤姫」ブームを巻き起こし、本市への関心と観光客の増加を図るべきでは。

答 「篤姫」の放映は舞台となる鹿児島を全国にアピールする絶好の機会であり、多くの観光客が訪れるものと考えている。鹿児島市の歴史・文化が再び脚光を浴びることになり、観光未来戦略に掲げた「近代日本の原風景」維新のまち「鹿児島づくりに」に官民一体となって取り組んでいきたい。



鶴丸城城門の復元イメージ図

菜の花プロジェクト

問 休耕農地、転作農地に菜の花を植えるプロジェクトを行

う考えはないか。

答 主な転作作物としてはソルゴーなど飼料作物、レンゲ、菜の花などの景観作物、ニガウリ、カボチャなどの野菜がある。

同プロジェクトは農地の荒廃防止や地球温暖化防止対策の一助として注目されているが、生産性の問題や廃食油の回収方法、石鹼・軽油代替燃料へのリサイクルシステムの確立など取り組みで課題が多いと考えている。

自由民主党新国会

飯屋秀一議員

市長の政治姿勢

問 今後の分権改革について、基本認識と新地方分権法案への地方の意見の反映は。

答 今後の分権改革は国と地方が対等の立場に立つて十分に議論し、進めていくことが重要であると考えている。

新しい地方分権法案の策定スケジュールや地方の意見をどのような形で反映させていくかは、現在のところ明らかにされていないが、今後、全国市長会等を通じて、地方の意見が最大限に反映されるような働きかけをしていきたい。

JT鹿児島工場跡地およびこれに関する諸問題

問 JT跡地についての基本的な見解は。またJTが土地処分をする際は公有地の拡大の推進に関する法律（公法）に基づき手続きがなされると思うが、その時期と市としてその活用策をいつ頃を目途に判断されるのか。

答 同跡地は市中心部における広大な土地であることや鹿児島中央駅に近い立地、市電沿線での

交通利便性に優れているなど、本市のまちづくりの観点から貴重なポテンシャル（潜在能力）を持った土地であることを踏まえ、現在、市民福祉、都市機能向上の観点からその活用策などについて内部検討を行っている。

同跡地は本年十月頃には旧鹿児島支社のビル等の解体工事に着手することであり、この工事の目的が立つ年末頃には公法に基づき申し出が行われるものと考えている。このような状況から市としてはこの土地の活用策について、本年十一月末頃までには判断する必要があると考えている。

問 市立病院のあり方について市長の見解は。

答 現在、市立病院あり方検討委員会が検討が進められており、本年十月下旬に同委員会から検討結果の報告をいただく予定である。今後の市立病院のあり方については同委員会での検討経過や議会の特別委員会での指摘も踏まえ、整備後の経営面にも留意し、規模や建て替えの方法等を各面から検討し、最終的に判断していきたい。

廃止バス路線対策

問 廃止後の代替交通手段についての基本的考え方は。

答 現在の利用実態や沿線の公共的施設の現況に照らし、廃止に伴う代替交通手段を確保しないこととした場合、地域住民の日常生活や公共的施設の利用への影響が大きいと考えられる七系統についてはコミュニティバスなどの代替交通手段を確保することとしている。

問 具体的な代替措置はどのようなことを考えているか。

答 具体的には犬迫方面、皆志方面、宮園・炭床方面、谷山さんぽの各方面については本市単独によるコミュニティバスの運行を予定している。また本市

の錫山地区を経由する加世田方面への運行については県の補助対象となる「廃止路線代替バス」の運行を予定している。

後期高齢者医療広域連合

問 平成二十年から七十五歳以上の後期高齢者医療制度が創設されることに伴い、設立することになる後期高齢者医療広域連合の現在の取り組み状況と今後のスケジュールおよび現行制度との違いは。

答 後期高齢者医療広域連合の設立に向け、現在設立準備委員会を設立し、規約、組織体制、予算などの検討を行っている。今後のスケジュールとしては広域連合の体制、構成市町村の費用負担割合などを内容とする広域連合規約案を本年十二月に構成市町村の各議会に提案し、議決後広域連合を設立することになる。

制度が変わることにより運営主体が現行の市町村から広域連合となり、保険料の賦課、医療の給付なども広域連合が行うことになる。

玉里庭園総合調査事業

問 「玉里邸茶室付庭園」の国の名勝指定に向けた現在の調査状況と国指定の見込み、今後のスケジュールは。

答 現在、庭園の実測図作成や茶室等の建造物調査などの総合調査を実施中であり、平成十九年度前半には国の指定を受けよう、来年一月には国指定の申請を行うこととしている。



自由民主党

古江尚子議員

市長の政治姿勢

問 地方分権のこれまでの経過における課題と課題は。また国が示す新型交付税への考えは。

答 「三位一体の改革」において三兆円の税源移譲が実現したことが、国庫補助負担金の改革では地方の裁量や自由度が高まっていること、「国と地方の協議の場」など地方の意見が反映される場の制度化が不十分であることなどが課題である。

国が示す新型交付税では交付税制度が本来有する財源保障機能や財源調整機能を確保できなくなる恐れがあるので、我々地方公共団体としては地方固有の財源であることを明確にした地方共有税の導入を望んでいる。

市立病院のあり方

問 建て替え問題についての市立病院の基本的考え方は。

答 建物は構造的に機能性に欠け、全体的に老朽化・狭隘化が進み、待合スペースや廊下・駐車場も狭く、動線も複雑である。また高度化・専門化していく医療機器や医療機能、医療を取り巻く環境の変化に対応し、市民・県民の中核的な総合病院としての役割を維持していくためには、速やかに建物全体の総合的な整備が必要であると考えている。

規模については現在と同規模程度必要で、敷地の利用効率、工事期間中の患者への影響、経営への影響、患者にとっての利便性、業務の効率性等を比較して移転建て替えが望ましいが、現在地やJT跡地を含め、各方面から十分検討していきたい。

（次頁上段へつづく）

問 財政問題の取り扱いと議会への対応に対する市長の考えは。

答 十月下旬にあり方検討委員会の報告をいただき、特別委員会での指摘等も踏まえ、公立病院としての役割、整備後の経営面にも留意し、規模や建て替え方法等を含め、各面から検討を行うよう関係部局に指示した。試算等がまとまったら議会にも示し、整備費などの財政面も踏まえ、各面から議会のご意見をいただきたいと考えている。

女性の再チャレンジ支援プラン

問 本市施策に盛り込むとすると方向性は。男女共同参画計画見直しと女性の再チャレンジ支援プランとの関連は。

答 方向性としてはさまざまな分野で自分にあったチャレンジを可能とするための学習機会や情報提供、再就職のための能力開発講座の実施、就業に関する相談体制の整備等が考えられる。

同プランについては可能なものは同計画の見直しの中に盛り込んでいきたい。

農産物の流通促進

問 四月に新設した生産流通課の取り組み状況は。また今後の庁内の関係課や庁外との横断的な取り組みは。

答 本年度から市内百貨店において「特産農産物 旬のキャンペーン」を六月と八月の二回実施し、また生産者と消費者相互の交流や生産者の安心安全への取り組みを理解していただくため、「食の安全交流会」を喜入地域のスイートコーン農家と松元地域のお茶農家で実施した。新設されたかごしまプロモーション推進室などの関係課や県特産品協会、県経済連などと連携を図り、神戸の物産展や東京のかごしま遊楽館、千葉などでニガウリ・オクラ等のキャンペーンを実施した。今後もさらに庁外機関などとの連携を密にし、効果的な流通促進が図られるよう努めていきたい。

上町地区活性化のための諸課題

問 鹿兒島駅周辺都市拠点総合整備事業におけるまちづくり交付金活用の考え方は。

答 現在、鹿兒島駅周辺地区の連続立体交差事業と土地区画整理事業の一体的な計画はまだ整理されていないので、今後は都市拠点総合整備事業を着実に進める中で、地域資源を生かした一体的まちづくりについても両事業と歩調を合わせながら、「ワークショップ」や「地元協議会への専門家派遣」など、「まちづくり交付金制度」の活用も想定し、地域住民の方々と一緒に進めて検討していきたい。

問 国道一〇号鹿兒島北バイパス事業推進のための本市対応は。

答 本年度は県市長会において同バイパスの整備推進を新規要望事業として提出した。今後とも事業促進に努めていきたい。

社会民主党

ふじくぼ博文議員

小泉政治五年間について市長の見解

問 中央と地方、個人間の格差拡大とアジア外交の閉塞状況をどう考えるか。

答 格差について、地方と中央といった地域間、あるいは個人間において表れていると認識している。市民の福祉や地域の振興を図るためには格差拡大は

好ましいことではない。

このことから観光振興、企業誘致、新規創業の促進など地域経済活性化に積極的に取り組み、雇用の創出や市民所得の向上を図るなど状況改善に努めたい。またアジア外交のあり方について、さまざまな議論がなされているが、都市間交流や民間交流は国家外交にない役割を果たしている。そのことがひいては国と国との親善や平和と繁栄にも貢献していくものと考えている。

市長の二年間の総括と課題

問 市長の二年間の総括と課題は。また「森カラーがみえない」との声も耳にする。住民アンケートを実施する考えはないか。

答 私は市民との対話、パートナーシップを大切にしたい。「市民が主役の鹿兒島市の実現」を基本理念に、本市の限らない発展と市民福祉の向上のため全力を傾けてきた。

最優先課題は新市全体の一体的な発展で、充実した総合力を生かしたまちづくりを強力に推進したい。また九州新幹線の全線開業を見据えた都市間競争を勝ち抜きまちづくり、地方分権の推進、少子高齢化や地球環境問題への的確な対応、健全財政の堅持など、これらの課題に積極果敢に取り組んでいきたい。

アンケート調査については来年度の市民意識調査の中で検討したい。

放課後児童健全育成事業

問 国の「放課後こどもプラン」の動きは。また本市の児童クラブの現状と今後の対応は。

答 国は「各市町村の教育委員

会が主導して、福祉部局と連携して、原則としてすべての小学校区で総合的な放課後対策として実施する」としているが、「当面、小学校以外で実施する場合も認める」としており、国の動向を見守りたい。

また児童クラブは六十一クラブであり、そのうち余裕教室活用は十二クラブとなる。待機児童は六クラブで四十八人となっており、利用児童数の増加が見込まれる等のクラブに分園を設置し、その際は余裕教室の活用を図りたい。

市国民保護協議会

問 国民保護計画策定の市国民保護協議会の会議日時、場所等の市民への周知は。また十分な協議と今後のスケジュールは。

答 開催日時等については事前にホームページに掲載し、報道機関へも市民への周知を依頼した。協議については実務者等で構成する幹事会で協議・検討したものと同協議会で十分に協議している。今後、十月中旬に二回目の協議会を開催し、年内にパブリックコメントを実施し、年度内に同計画を作成したい。

全国学力・学習状況調査(標準学力テスト)

問 過度な競争につながる恐れのある全国学力・学習状況調査に対する見解と参加意思は。また結果公表と学校への指導は。

答 同調査により測定できる学力は一部の教科や学年であることを認識し、参加する。また調査結果は市の全体的な概要を公表し、個々の学校の結果は公表しない。各学校にも目的を理解させ、公表するにあたっては慎重な配慮のもと、学校間の序

列化や過度な競争等につながらないよう十分に指導する。

市立病院の喫緊の課題

問 病院の建て替え問題も重要であるが、その前に今やるべき喫緊の課題は。

答 引き続き健全経営を堅持し、医療サービスを向上するために、十対一看護体制導入のための看護師の適切な確保、包括医療制度の導入や委託業務の見直し、薬品や診療材料費の経費の抑制などにさらに努力したい。

公明党

長浜昌三議員

市長の政治姿勢

問 日本の国連加盟五十周年の終戦記念日に「第二次世界大戦戦亡者慰霊祭」を実施した市長の所見は。

答 過去の戦争で多くの国々が甚大な犠牲を被った歴史を踏まえて、我が国が戦後一貫して進めてきた平和国家としての歩みをさらに強固なものとし、国際社会への貢献を続けていくことが大切である。

また本市では平成二年に「平和都市宣言」を行い、核兵器の全面撤廃や世界の恒久平和を願うとともに、再び戦争による惨禍を繰り返さないことを誓ったところであるが、これからは各種施策を通じて、さらに市民の平和を尊ぶ心を育むよう努めていきたい。

第三十二号議案 鹿兒島市国民健康保険条例一部改正の件

問 この議案の概要を示せ。

また本市でも出産育児一時金の「受領委任払い」方式を導入すべきでは。

答 本市の国民健康保険に加入している被保険者が出産したときに、当該被保険者の属する世帯の世帯主に支給する出産育児一時金の支給額を本年十月一日より現行の三十万円から三十五万円に引き上げようとするものである。

今回、国が出産費用の負担軽減を図るため、出産育児一時金を被保険者の事前申請に基づき、保険者から直接医療機関に支払う「受取代理制度」を示し、本年十月から保険者の任意で取り組むこととなっている。本市では関係機関とも協議しながら検討を進めていきたい。

食育推進計画策定

問 食育基本法に基づき「市食育推進計画」を平成二十二年までに作成・実施し、具体的な目標の数値化に取り組むようになっていくが、本市の計画はどのようなものか。

答 国の示した食育推進基本計画に基づき、都道府県は二十二年度までに策定することとなっているが、本市の計画については今後、他都市の状況も参考にしながら関係部局と連携を図っていきたい。

資源物持ち去り(抜き取り)禁止条例

問 速やかな禁止条例の制定をすべきでは。

答 個人的な利益のために有価となる資源物を持ち去ることは市民の厚意を無にする行為であり許されない。持ち去り行為に対する市民からの苦情や指摘

は続いている。速やかに何らかの有効な対策を講じる必要があると考えている。

災害ボランティア活動基金

問 災害ボランティアの活動を支援するために、本市において災害ボランティア活動基金を創設する考えはないか。

答 大規模災害時にはボランティア活動が県内・県外の広域で行われることから、県単位で設置している例はある。市町村単位でそのような制度を設けているところがあるが、今後、他都市の状況も調査していきたい。

防災ラジオ

問 戸別受信機より安価な同報無線受信可能な防災ラジオを配布すべきでは。

答 防災情報の伝達手段の一つとして整備を進めている都市もある。本市では防災行政無線の整備計画を検討する中で、防災ラジオを含めたさまざまな情報伝達手段について各面から検討していきたい。

新鴨池公園水泳プール(仮称)の整備

問 新鴨池公園水泳プール(仮称)の整備をPFIにより進める上で地元企業の活用について、どのように考えているのか。

答 地元企業の活用については地域経済への波及効果が期待されることから、公平性等に留意する中で実施方針に盛り込む方向で検討している。

個人質疑から

第3回定例会では18人の議員が個人質疑を行いました。その中から一部を紹介します。質疑者は次のとおりです。

山 下 英 純 議員（無所属）
堀 山 純 議員（自由民主党）
奥 山 純 議員（自由民主党）
う え 山 純 議員（自由民主党）
竹 川 純 議員（自由民主党）
ふ 井 純 議員（自由民主党）
小 大 純 議員（自由民主党）
平 川 純 議員（自由民主党）
小 竹 純 議員（自由民主党）
北 森 純 議員（自由民主党）
山 下 英 純 議員（無所属）
堀 山 純 議員（自由民主党）
奥 山 純 議員（自由民主党）
う え 山 純 議員（自由民主党）
竹 川 純 議員（自由民主党）
ふ 井 純 議員（自由民主党）
小 大 純 議員（自由民主党）
平 川 純 議員（自由民主党）
小 竹 純 議員（自由民主党）
北 森 純 議員（自由民主党）

男女共同参画計画の中間見直し

問 本市の男女共同参画計画の中間見直しに当たっての方向性とスケジュールは。

答 同計画については昨年十二月に国が策定した男女共同参画基本計画（第二次）や社会情勢等の変化に合わせて、新たな項目の追加や修正、文言整理を行っていくことにしている。また同計画の中で用いているジェンダー・フリーの用語については見直しをする必要があると考えている。

問 今後のスケジュールはパブリックコメントや地域での意見交換会を実施し、今年度末までに同計画の改訂版を策定したい。

市職員の飲酒運転に対する処分基準

問 本市職員の飲酒運転に対する処分基準の内容は。またこれまでの職員の処分内規を指針として制定し、公表すべきではないか。

答 本市では職員の交通事故および交通法令違反に対する処分基準を設けており、その中で酒酔い運転による死亡事故の場

合は免職、人身事故の場合は免職または停職と規定している。処分基準については機会あるごとに職員に周知するとともに、外部に対しても情報提供を行ってきているが、今後とも職員の飲酒運転防止に対する本市の取り組み姿勢をさらに明らかにする意味からも積極的に情報発信し、飲酒運転の根絶に努めていきたい。

子ども危機管理マニュアルの作成

問 昨年の悲惨な地下壕事故にかんがみ、子どもに関わる事件・事故が発生した際の対応を明記した子ども危機管理マニュアルを作成する考えはないか。

答 現在市民の生命、身体および財産に重大な被害を及ぼす災害・事件・事故等の危機に迅速に対応する体制の確立など、総合的な危機管理体制の整備を図るため、危機管理に関する指針の策定を進めているところである。その中で子どもの安全対策についても検討していきたい。

避難所への配備用品の現状

問 本市の各避難所に配備されている用品と配備状況は。また非常用食糧品の備蓄の取り組みは。

答 避難所用品としては懐中電灯、ラジオ、ハンドマイク、救急薬品等があり、避難所が小・中学校や地域福祉館など市の施設の場合は避難所内に、民間施設などの場合は本庁・各支所で保管し、避難所開設の際に配備している。

問 非常用食糧品については国・県の備蓄食糧に加え、本市ではデパートやスーパーなど十一社との「災害時における食糧等物資の供給協力に関する協定」により安定供給を行うこととしており、今後さらに協定の相手方の拡大を図っていきたい。

太陽光発電の環境への貢献

問 本市補助により設置された住宅用太陽光発電システムによる環境への貢献度は。また環境未来館（仮称）への太陽光発電の導入計画は。

答 太陽光発電は二酸化炭素等の温室効果ガスを発生しないクリーンなエネルギーである。平成十六・十七年度に補助を受けて設置された同システム九百二十一件により、年間約千二百トンの二酸化炭素の排出が削減さ

地域生活支援事業の内容

問 本年十月から「障害者自立支援法」に基づき、地域生活支援事業が実施されるが、これまで利用していた事業内容やサービス、利用負担に変化はないか。また利用者への周知は。

答 同事業については基本的にはこれまでのサービス内容を継続することとし、これまで利用されていた方々がこれまでどおり利用できるよう準備を進めている。

問 また利用負担については引き続き、訪問入浴事業などは無料とし、日中一時支援事業などは一割負担をお願いするなど、これまでの内容を継続していきたいと考えている。

父子家庭への施策充実の取り組み

問 父子家庭に対する児童扶養手当の支給について国へどのような働きかけを行っているのか。また母子・父子家庭に対する本市独自の施策を父子家庭にもっと利用しやすいようにすべきでは

れたことになる。同館においては太陽光発電やハイブリッド外灯を整備するなど、自然エネルギーを積極的に利用し、二酸化炭素の排出を抑制していくことにしている。



太陽光発電システムを設置した住宅

養育手当の支給について国へどのように働きかけているのか。また母子・父子家庭に対する本市独自の施策を父子家庭にもっと利用しやすいようにすべきでは

答 児童扶養手当の支給対象を父子家庭にも拡充することについては、毎年、全国市長会において国に対して要望している。現在のところ実現には至っていないが、今後とも引き続き国に強く要望していきたい。

問 母子・父子家庭に対しては本市独自で市民福祉手当、母子・父子家庭親子ふれあい事業などを実施しているが、今後ともこれらの事業が多くの父子家庭にも利用しやすいものとなるよう、事業の名称変更や周知方法などについて検討したい。

伊敷地区における高齢者福祉センター建設

問 第四次総合計画を踏まえた実施計画（平成十八～二十年）の中で、伊敷地区に本市五つ目の高齢者福祉センターの建設が予定されているが、その建設場所と機能についてはどのように考えているのか。また供用開始の時期は。

答 建設場所については伊敷地区を念頭に、地区内の民間温泉施設や周辺の公共温泉施設、近隣の公共施設の配置、交通の利便性などを勘案し、各面から検討中である。また機能については既存の高齢者福祉センターや周辺の類似施設の設置状況等も踏まえ、今後検討していきたいと考えており、第四次総合計画の計画期間（平成十四～二十三年度）内に設置できるよう取り組んでいきたい。

カゴシマシティビュー（夜景コースの運行）

問 カゴシマシティビュー（夜景コース）の運行状況と桜島側から見る夜景コースの検討は。

答 夜景コースは鹿児島中央駅からドルフィンポート、城山展望台、天文館などを通り同駅に帰ってくる約一時間の運行ルートとなっており、八月は毎週金・土・日曜日に四便運行し、延べ六百七十一人の利用があった。九月から十一月までは毎週土曜日に二便を運行する。十二月以降についてはみなと大通り公園のイルミネーション点灯なども見据えながら今後検討していきたい。

問 桜島側からの夜景コースについては、現在策定を進めている桜島観光振興プランの中で市街地方向を望むビューポイントの整備も検討することとしており、このことを含めて議論していきたい。



夜景コースを走るシティビュー

サマーナイト大花火大会の経済効果

問 かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会の経済効果は。また収録番組を制作し、放映する考えはないか。

答 大会当日の会場での聞き

取り調査による消費額を基に、会場とその周辺の約十万人の観覧者で試算すると約五億九千万円の経済効果となる。また収録番組の制作、放送については大会当日観覧できなかった方々に花火を楽しんでいただけるなどの効果があるので、まずは実行委員会に参画している地元放送局に働きかけてみたい。



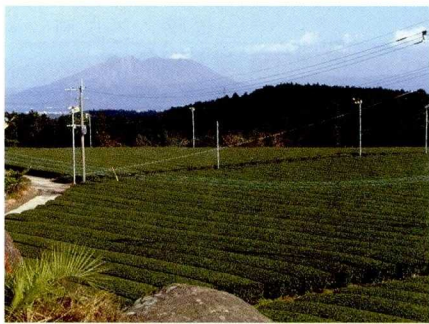
サマーナイト大花火大会（桜島側から）

医療保険対象のリハビリ医療打ち切り問題

問 国の医療制度改革に伴う診療報酬改定で、一部の疾患を除いて医療保険の対象のリハビリ期間を発症後百八十日を上限としたことに対する市長の見解と本市の対応は。

答 リハビリ医療の上限日数の設定により、リハビリを受けている方々から従来どおりのリハビリを受けられなくなるとの声があることは承知しており、患者や家族の方々に影響があるのではないかと懸念している。国民が安心して質の高い医療を受けられることは重要なことであるので、リハビリ医療についても関係機関等と十分連携を図って対応していきたい。

またリハビリ医療の相談など本市でできる対応について早急に検討するよう、関係部局に指示していく。



松元の茶畑

自転車・バイクを利用しやすいまちづくり

問 商店街活性化の観点から商店街での自転車・バイクの優遇策を展開する考えは。

答 商店街が来街者に対して自転車・バイクを利用した来店を呼びかけることは、商店街の回遊性向上や環境対策等の面において一定の効果があると考えている。

地域特性を生かした農業(茶葉振興)

問 松元地域におけるお茶など地域特性を生かした農業を振興する中で、地産地消を推進することは重要であると考えているが、市長の見解は。

答 松元地域は県内でも有数のお茶の産地であることから、本市ではお茶を重点作物の一つとして位置付け、生産環境の整備や安定生産に向けたさまざまな取り組みを推進している。

お茶をはじめとする市内産農産物を市民にPRすることは重要なことと考えており、今年度

から「特産農産物 旬のキャンペーン」や「食の安全交流会」等を通して消費拡大を図っているほか、本県が全国有数のお茶の産地であることから、県や関係団体と一体となって「かごしま茶」のPRに努めている。

今後さらに関係団体等と一体となって地産地消の推進に努めていきたい。

マリンポートかごしま埋立土砂投入計画の変更

問 マリンポートかごしまの埋立土砂投入計画が変更されたが、その理由と内容は。

答 県によると、平成十四年七月時点ではマリンポートかごしまの埋立土砂は全体で約四百五十万立方メートルが必要で、このうち約三百七十万立方メートルは松島野尻地区土石流土砂としていたが、近年松島土石流土砂の発生量が減少傾向にあること、また県内の公共工事から発生する土砂の有効活用が求められていることから一工区の埋立土砂の採取場所等を変更したとのことである。

変更内容は、十八年七月の県の変更許可申請書によると全体を約四百四十六万立方メートルとし、うち松島野尻地区土石流土砂を約二百六十四万立方メートル、西之谷ダムを除く旧鹿兒島市および旧松島町域の公共残土を約八十二万立方メートルに変更し、新たに旧喜入・郡山・吉田・松元の各町域から約八万立方メートル、指宿・鹿屋伊集院・加治木・加世田地区から約三十一万立方メートルの公共残土を一工区に受け入れることなどである。

食農教育への取り組みと課題

問 本市小・中学校における食農教育の取り組み状況とその成果は。

答 小学校七十五校、中学校二十四校において「生活科」や「総合的な学習の時間」の中で、「総合的な学習の時間」の中で、農作物の植え付けから収穫、調理に至る一連の体験活動に積極的に取り組んでいる。特徴的なものに松島小などの松島大根栽培、宮小などのニガウリ栽培、喜入中の酪農体験等がある。この取り組みの中で、地域の人材の講師としての活用、収穫した農作物の消費者への販売、高齢者との調理など、学校内外で幅広い交流活動を展開している。

これらの活動を通じて、児童生徒が自分の手で作物を育てることや汗を流して働くことの喜びを味わうとともに、生き物に対する思いやりや自然を理解する心を育むことができるなどの成果がある。



稲刈り体験(宮小学校)

団塊世代の退職を控えた消防技能継承への取り組み

問 団塊世代の大量退職を控え、消防局の次世代への技能継承に対する取り組みは。

答 経験豊かな団塊世代の大量退職は消防を取り巻く課題の一つとなっている。特に火災や救急救助活動での臨機応変な消防活動技術の習得は豊富な現場経験に裏打ちされていることから、災害現場活動のレベル低下を招くことがないよう、危機感をもって取り組んでいる。

地域公民館の利用促進などの課題

問 利用者の少ない地域公民館の利用促進のための課題とその対策は。また旧五町において合併により青少年健全育成は青少年課、生涯学習は生涯学習課の所管となったことにより、子ども会育成会などこれまで地

具体的には火災防衛、ポンプ運用、救急救助技術などの各専門分野に卓越した職員を指導員として配置し、あらゆる機会をとらえて研修やミーティングを行うなど、先輩たちが長年培ってきた判断力や技能を継承するとともに、強い使命感を持った次世代の消防職員育成に努めている。

委員会から

地域包括支援センター

問 介護保険法改正に伴い、介護予防ケアマネジメント等の事業を行うため、平成十九年二月に設置する地域包括支援センターの運営について、在宅介護支援センター協議会を母体として新たに設立される社会福祉法人に委託する方式を採ることとした基本的な考え方は。

答 従来の介護保険制度では介護サービスとケアマネジメントが一体となっていたという課題があったことから、適切なサービスの提供のため、介護サービスとケアマネジメントを分離させる必要があったことや在宅介護支援センターが地域の情報やネットワーク、経験豊かな人材を有しており、これらを新法人に発展的に引き継ぐことでサービスの維持向上と効率的かつ公正・中立な事業運営を行うこと

域公民館が担っていた役割が後退することのないよう取り組むべきではないか。

答

地域公民館の利用促進を図るため、多様化する市民のニーズを的確に把握した上で、特色ある講座の開設や自主学習グループの育成支援など、さらに工夫・改善を図っていきたい。

また合併後の旧五町の地域公民館については青少年課や生涯学習課と連携を図りながら、青少年健全育成活動の支援等を推進しており、旧五町の地域活動が後退することのないよう、引き続き関係各課と地域公民館との連携を図りながら取り組んでいきたい。



市立図書館のビジネス支援への取り組み

問 市立図書館の図書等を活用した市民の起業やベンチャービジネス等の支援に関する取り組み状況は。

答 市立図書館内でのビジネス支援コーナー設置については、館内会議や図書資料選定委員会

で図書資料の収集や設置場所などに、検討を行っている。今後、今年度中の設置に向けて、関係部局の意見を聞きながら、図書資料や書架等の準備をしていきたい。なお今年度の図書館文化講座ではビジネス関連の講演会も計画しているところである。

特別天然記念物メヒルギの蘇生

問 国指定の特別天然記念物「喜入のリウキウコウガイ」(メヒルギ)の生育悪化の原因と生育状況を改善するためにどのような対策を講じるのか。

答 昨年七月末の豪雨の際にシラスが流入・堆積したことな



メヒルギ

市議会からのお知らせ～海外行政視察の報告～

鹿兒島市議会では、「平成18年度鹿兒島市友好代表団」(長沙市訪問)に議員を派遣しました。海外行政視察の概要は市議会事務局発行の「調査時報」[10月号(10月下旬発行予定)]に掲載します。

【閲覧できる場所】

市議会図書室、市政情報コーナー、市民プラザ、地域公民館、地域福祉館、市立図書館、サンエールかごしま、勤労青少年ホーム、勤労婦人センター、吉田福祉センター、県立図書館



可決された意見書の要旨

第3回定例会では1件の意見書を原案どおり可決しました。要旨は次のとおりです。
●出資法および貸金業規制法の改正を
多重債務問題の抜本的解決と、あわせて一般市民が安心して生活できる消費者信用市場の構築のため、出資法および貸金業規制法の改正を強く要請するため、『出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律』及び『貸金業の規制等に関する法律』の改正を求める意見書を提出します。
：提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣、金融経済財政政策担当大臣、総務大臣

議案等に対する各会派等の表決態度

○賛成 ×反対

	件 名	自由民主党 新 政 会	自由民主党	社会民主党	公 明 党	市政クラブ	市民クラブ	日本共産党	平成の会	無所属A	無所属B	無所属C	結果
議 案	▼工事請負契約締結の件〔横井埋立処分場（2工区2期）整備工事〕												可決
	▼自動車購入の件〔ごみ収集車9台〕												
	▼鹿児島市国民健康保険条例一部改正の件												
	▼鹿児島市国民健康保険税条例一部改正の件												
	▼市民福祉手当支給条例一部改正の件												
	▼新たに生じた土地を確認する件												
	▼町の区域の変更に関する件												
	▼鹿児島市自転車等の駐車対策に関する条例一部改正の件												
	▼鹿児島市過疎地域自立促進計画の策定に関する件												
	▼鹿児島市消防本部及び消防署設置条例等一部改正の件												
意 見 書 案	▼平成18年度鹿児島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）												同意
	▼平成18年度鹿児島市介護保険特別会計補正予算（第1号）												
	▼鹿児島市税条例一部改正の件												
	▼平成18年度鹿児島市一般会計補正予算（第2号）												
陳 情	▼平成18年度鹿児島市交通事業特別会計補正予算（第1号）												採択
	▼人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件												
意 見 書 案	▼「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書提出の件												可決
	▼犯罪の国際化及び組織化並びに情報処理の高度化に対処するための刑法等の一部を改正する法律案の新設について慎重な審議を求める意見書提出の件												否決
陳 情	▼出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」（出資法）及び「貸金業の規制等に関する法律」（貸金業規制法）の改正を求める意見書提出について												採択

会派名等	議員数	所 属 議 員 名				会派名等	議員数	所 属 議 員 名			
自由民主党 新 政 会	17人	和田 幸一	脇田 高德	池山 泰正	竹ノ下 光	公 明 党	6人	長 浜 昌三	小森のぶたか	崎元ひろのり	中尾まさ子
		杉 尾 巨樹	奥山よしじろう	川 越 桂路	山口たけし			藤田てるみ	川 野 幹 男		
		飯 屋 秀一	豊 平 純	柿 元 一雄	黒木すみかず			井 上 剛	うえだ勇作	政田けいじ	片 平 孝 市
		小森こうぶん	鶴 蘭 勝利	上 門 秀彦	平 山 哲			三反園輝男	ふじた太一	泉 広 明	
自由民主党	10人	堀 純 則	古 江 尚子	田 中 良 一	志摩れい子	市政クラブ	4人	山下ひとみ	竹原よし子	平山たかし	
		谷 川 修一	幾 村 清 徳	長田徳太郎	下 村 祐 毅			うえがき勉	竹之下たかはる		
		入 船 攻一	赤 崎 正 剛								
社会民主党	6人	大 森 忍	ふじくぼ博文	北森たかお	ふくし山ノブスケ	市民クラブ	3人				
		森山きよみ	秋 広 正 健								
社会民主党	6人					日本共産党	3人				
社会民主党	6人					平成の会	2人				
社会民主党	6人					無 所 属 A	1人				
社会民主党	6人					無 所 属 B	1人				
社会民主党	6人					無 所 属 C	1人				

市議会からのお知らせ～委員会室が移転しました～

8月にこれまで市役所別館3階にあった第1・2・3委員会室が4階へ移転し、議会運営委員会室が新たに設けられました。なお本会議や委員会とはなっても傍聴できます。手続きは次のとおりです。

＜本会議の傍聴手続き＞

- 本会議の傍聴を希望される方は、東部保健センター3階の本会議傍聴受付までお越しください。市役所別館3階の市議会事務局側からの通路もご利用できます。
- 傍聴受付で傍聴人受付簿に住所、氏名等をご記入ください。係員が傍聴席へご案内いたします。
- 耳の不自由な方のために議場のマイクの音を聞き取りやすくするワイヤレスの専用補聴器を用意しています。
 - 手話通訳を希望される方は5日前までに市議会事務局へご連絡ください。
 - 身体障害者の方は盲導犬、介助犬、聴導犬などの補助犬と同伴で傍聴できます。

＜委員会の傍聴手続き＞

- 委員会の傍聴を希望される方は、市役所別館3階の委員会傍聴受付（市議会事務局）までお越しください。
- 受付で委員会傍聴申込書に住所、氏名と傍聴希望の案件等をご記入ください。
- 委員会の許可が必要になりますので、許可されたのち係員が委員会傍聴席へご案内します。
- ※各委員会室とも部屋の広さの関係上、傍聴できる人数は8人となっておりますので、あらかじめご了承ください。

詳しいお問い合わせは、市議会事務局総務課まで
☎099-216-1450(直通)

